

特集 Gマーク認定 事業所紹介

安全性に磨きをかける「Gマーク」

運送事業者としての付加価値をもたらし

2021年度の「貨物自動車運送事業安全性評価事業(Gマーク制度)」が本格的にスタートした(4月)に制度概要。『広報とらつく』では、Gマーク認定を受けている事業所を訪ね、Gマーク認定取得の経緯や安全性向上の取り組み、またGマーク取得によるメリットなどを取材した。

今回は、平成17年に初めてGマーク事業所に認定されて以降、連続Gマーク取得年数15年を迎え、令和2年に国土交通省北陸信越運輸局長表彰を受賞した、新潟県新潟市の亀田キャリア(株)(長谷川健一代表取締役社長)本社営業所を紹介する。

亀田キャリア株式会社本社営業所(新潟県新潟市)

「日常の積み重ねが安全性向上に繋がる」
取り組みが評価されGマーク取得



長谷川 健一
代表取締役社長



長谷川 雅紀
代表取締役専務

県トラック協会事務局からの紹介がきっかけでした。事務局の方のお話を伺った当社社長から取得を勧められ、チャレンジしようと思いました(長谷川雅紀代表取締役専務)。

初めての申請に際しては、特に申請書の作成に苦勞したと、雅紀専務は当時を振り返る。当時は、既にGマークを取得した事業者が周りにいなかった。そのため、雅紀専務は新潟県下協に通い、事務局の担当者からアドバイスをもらい、手直しを重ねながら完成させた。

「当社では、Gマークの認定を受けるために、新たな安全性向上への取り組みを始めたということ(長谷川健一代表取締役社長)」



平成17年に初めてGマークを取得、以来15年にわたりGマーク認定を受け続けている同社



模範運転手による模範運転映像の撮影

毎日の終業点呼の際にドライブレコーダー取得した映像を見せ、ヒヤリハット事例の情報共有を図っている。

「常に考えて、決断のめしめしを怠らぬ」「若くしてドライバーに運管資格取得を働きかけ」

それでは、同社における安全性向上への取り組みについてみていこう。同社では近年、30代の比較的若いドライバーが多く入社しているという。同社では、特に若いドライバーに対して、「運転や荷物の積卸作業に関しては、どんな状況であつても、どんな状況であつても、物事故なく、そして効果的に運ぶために、常に考え、工夫して、より安全性高い行動をとるように指導するとともに、『決断のめしめし』

「日々の業務に慣れてくると、ちょっとした心のおごりや油断が生まれ、それが原因となつて事故の発生に繋がっていかねません。若いドライバーに対しては、ドライブレコーダーを事故なく、そして効果的に運ぶために、常に考え、工夫して、より安全性高い行動をとるように指導するとともに、『決断のめしめし』

終業点呼の際に毎日ドライブレコー画像を視聴 いち早いヒヤリハット情報の共有

同社には2ト車から4ト車を中心に19台の車両、プレッシャーやデジタル

全国第2位の認定取得率を誇る新潟県 Gマークがもつ付加価値や効果を実感

平成15年にスタートしたGマーク制度も、再来年(令和3年)を迎え、その間から20年を迎える。それとともに、他の運送事業者の間にもGマーク制度が浸透。同社は、周りの運送事業者に先んじてGマーク事業所に認定されたこともあり、長谷川社長や雅紀専務の「Gマーク」といふ言葉が、同社にGマークを取得できるという付加価値がある特別なものであるような印象を与えます。「Gマーク」といふ言葉が、同社にGマークを取得できるという付加価値がある特別なものであるような印象を与えます。「Gマーク」といふ言葉が、同社にGマークを取得できるという付加価値がある特別なものであるような印象を与えます。

「安全への基本に対して忠実に」 Gマーク事業所として安全性向上に注力

平成17年にGマーク事業所として初めて認定された同社。以降、安全性向上への取り組みを継続的に実施し、同社はこれまで15年もの間、Gマーク事業所として事業を展開してきた。安全性向上への真摯な取り組みが高く評価され、同社は令和元年に国土交通省北陸信越運輸局長表彰を受賞した。令和2年には北陸信越運輸局長表彰を受賞している。

「安全性向上の当たり前の取り組みを長年にわたって継続してきたことが評価され、今回の受賞に至ったのではないかと感じています。安全性に対する評価は長年培ってきた初めて形になる通です。一方で、一度交通事故が発生させたら、お客様からの信頼はたちまち失われてしまいます。」

「最近では、荷主の方にもGマークを知ってくださっている方が増えてい

タコグラフは全車に導入済みで、デジタルを活用しての点数制による運行管理なども行っている。同社における安全性向上への取り組みとして出されるのは、ドライブレコー画像の共有である。同社では、ドライブレコー画像を毎日日々のヒヤリハット映像を運行管理者が毎日チェック。毎日の終業点呼の際にドライバーに見てもらい、ヒヤリハット事例をその日のうちに情報共有してもらっている。なかでも、荷主から同社に寄せられたクレームや、ドライバーに対する感謝の言葉などについては、班を通じて情報共有を行うようにしている。

また、同社では担当している荷主ごとに、ドライバーによる班組織を形成。必要に応じて班ごとにミーティングを行い、安全意識向上に努めている。なかでも、荷主から同社に寄せられたクレームや、ドライバーに対する感謝の言葉などについては、班を通じて情報共有を行うようにしている。

「他のドライバーが、ヒヤリハット事例が発生した地点を、その後に行きかかった時に、危険を回避するために何に気を付けるべきか」を事前に知っているのと知らないのでは、大きな違いが出てきます。当社では、『ヒヤリハット事例は、発生したその日にドライバーに見てもらわないと意味がない』と考えて、早いタイミングでの情報共有を行い、類似事案の未然防止に努めています(雅紀専務)。

「安全への基本に対して忠実に」
Gマーク事業所として安全性向上に注力

平成17年にGマーク事業所として初めて認定された同社。以降、安全性向上への取り組みを継続的に実施し、同社はこれまで15年もの間、Gマーク事業所として事業を展開してきた。安全性向上への真摯な取り組みが高く評価され、同社は令和元年に国土交通省北陸信越運輸局長表彰を受賞した。令和2年には北陸信越運輸局長表彰を受賞している。

「安全性向上の当たり前の取り組みを長年にわたって継続してきたことが評価され、今回の受賞に至ったのではないかと感じています。安全性に対する評価は長年培ってきた初めて形になる通です。一方で、一度交通事故が発生させたら、お客様からの信頼はたちまち失われてしまいます。」

「最近では、荷主の方にもGマークを知ってくださっている方が増えてい

「最近では、荷主の方にもGマークを知ってくださっている方が増えてい

会社概要	
亀田キャリア(株)	
代表取締役社長 長谷川 健一	
本社営業所 新潟県新潟市江南区曙町 2-7-35	
設立 平成2年1月8日	
資本金 2,100万円	
従業員数 22人(うちドライバー18人)	
車両数 19台	